

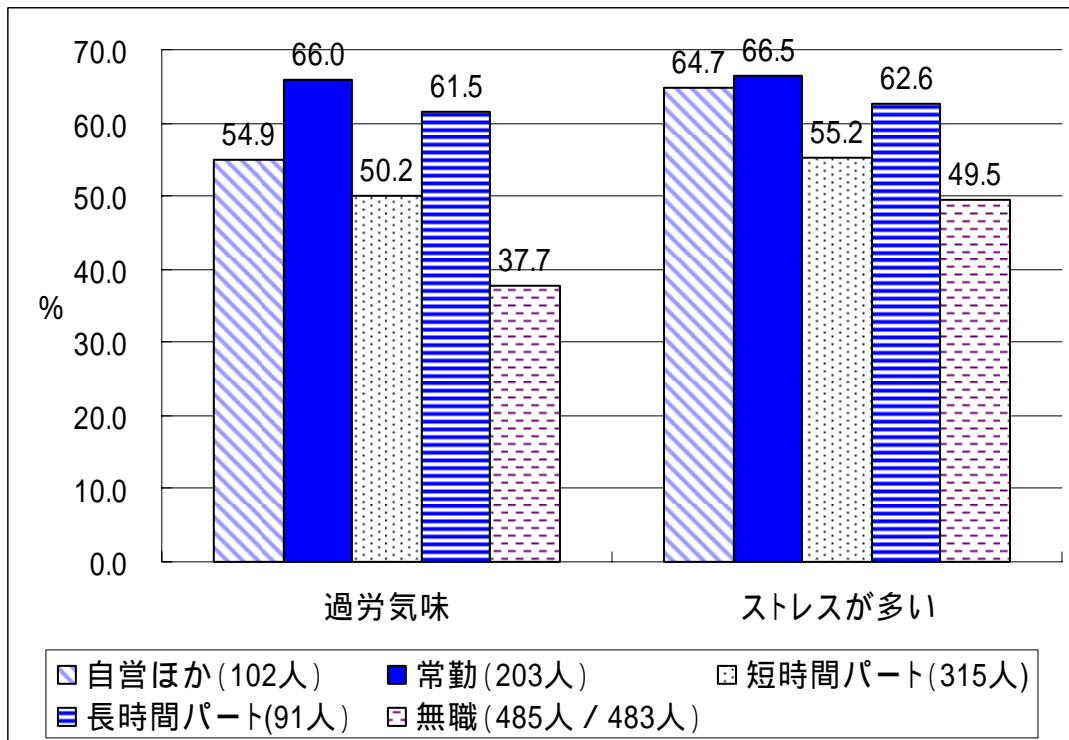
IV. 妻の働き方と精神的負担感

(1) 長時間働く妻のストレス

ここでは、働き方（労働時間および従業上の地位の組み合わせ）によって、妻の意識がどのように異なるかを調べた。

有配偶女性 1,196 人を対象に、働き方（注 1）と精神的負担感との関係を調べたのが図表 IV-1 である。「少し過労気味と思う」、「精神的にストレスが多い」という項目に「はい」と答えた人の割合をみると、とくに「常勤」と「長時間パート」に多く、「無職」では少ない。労働時間の長さが、妻の負担感を高める大きな要因となっていることがうかがえる。

図表 IV-1 働き方別にみた妻の精神的負担感



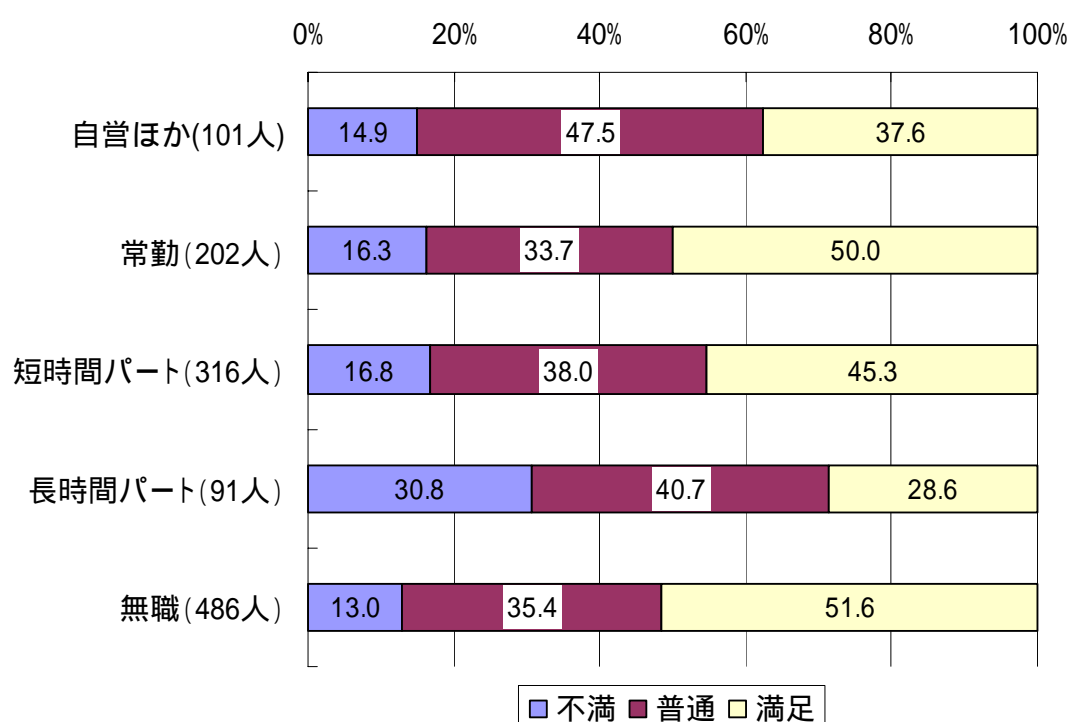
注 1：就業状態（有職か無職か） 従業上の地位（自営業・家族従業者・自由業者か雇用者かの別、および常勤かそれ以外かの別） 1 週間あたりの労働時間（35 時間未満か 35 時間以上か）によって、有配偶女性を「自営ほか」（家族従業者や自由業者を含む）、「常勤」、「短時間パート」、「長時間パート」、「無職」（学生や休職中の者は除く）の 5 つに分類した（なお、週あたりの労働時間が 35 時間未満で、常勤の女性は少数のため除いた）。

注 2：「無職」のみ、一部無回答のため、質問項目によって回答者数が異なる（「過労気味」で 485 人、「ストレスが多い」で 483 人）。

(2) 長時間パートの妻は夫婦関係に不満

また、妻の働き方別に夫婦関係満足度（注）を調べると（図表 IV-2）、「長時間パート」の妻で「不満」という回答が 30%を超えている。また、生活、世帯収入、消費に対する満足度のいずれについても、「長時間パート」で働く妻の満足度が低くなっている。ここでも仕事と家庭の二重負担が、妻の意識にマイナスの影響を及ぼしていることがうかがえる。

図表 IV-2 働き方別にみた妻の夫婦関係満足度



注：夫婦関係満足度は、「あなたは現在の夫婦関係に満足していますか」という質問への回答をさす。ここでは5つの選択肢のうち、「非常に満足している」と「まあまあ満足している」との回答をまとめて「満足」とし、「あまり満足していない」と「まったく満足していない」を「不満」とまとめた。